

私の思い描く男女共同参画社会

友部小学校 五年 高崎 真衣

私の思い描く男女共同参画社会とは、男性でも、育児休暇が取りやすく、男性と女性が協力しながら子育てのできる社会です。

ある新聞に、市長が育児休暇を取るという記事がのっていました。その記事の中で、「自分も育児の必要性は感じていたが、男性はなかなか取れないのが現実。機運を高め、壁を打ち破る意味を込めた。」と、書いてありました。その記事を読んで、男性が、育児休暇を取り、育児に積極的に参加することは、とてもよいことだと思いました。その記事について、家族と話し合ってみました。お父さんとお母さんは、「会社のえらい人が、進んで育児休暇を取ってくれることで、これから、社員も取りやすくなるね。社会全体の意識が変わることが必要だね。」と、言っていました。その話を聞いて、私も、男性でも育児休暇が取りやすくなれば、育児に協力することができるので、女性の負担も減ると思います。

また、出産や育児のために、仕事を続けたくても、仕事をやめなければならぬ女性も多いそうです。お父さんとお母さんは、「昔は、男性は働き、女性が家を守るという時代だったんだよ。」と、言っていました。でも、今は、共働きの家庭が増えているので、男性でも育児休暇を取りやすくなるのが、とても大切なことだと思いました。そして、女性にとって、職場復帰しやすい環境作りは、これからの時代に、とても必要なことだと思います。さらに、子供が大きくなってから仕事に復帰したいという女性についても、働きやすい環境になってほしいと思います。

私が大人になるまでに、多くの女性が社会で活躍でき、仕事や子育てなど、男女が協力しながら生活できる環境になってほしいと思います。そして、男女平等に暮らせる地域社会になってほしいです。

男女平等について考えたこと

笠間中学校 二年 菅谷 侑架

男女平等、当たり前前に思っていた事が、当たり前じゃない時代があったそうです。

私は三人姉妹の次女です。母は、「昔だったら男の子を産んでいないお母さんは嫁として失格かもね。」と笑って言いました。女性というだけで男性よりも地位を低く位置づけられ、参政権も無い時代があったなんて、想像もつきませんでした。

男女平等ってなんだろう。

最近父は、仕事で母のいない休日に、食器を洗っておいたりするようになりました。父は、「忙しい時は、みんなで助け合うのが家族。平等とはそういうこと。」と言い、「もし、社会や職場で男女がまったくの平等になったら大変だよ。重い物を動かしたりする時は、男性がすればよいし、細かい心遣いは女性にはかなわない。」

確かに、男性に子供を産むことはできない等、男性と女性はまったく違います。けれども、これは男性の仕事、こっちは女性というように考えていると、いつまでも平等にはなれないと思います。

両親の話を聞いて男女平等とは同じにする事ではなく、相手を思いやる事だと思いました。お互いに不足している所を補い、相手を尊敬できる事が大切だと思います。

私も自分でできる事は自分でやり、家族の一員として協力していきたいと思いました。そして、人を思いやれる人間になる事が男女平等の第一歩だと思います。